

平成27年度 当初予算

一般会計予算は 273億8、000万円

平成27年度の当初予算が市議会第1回定例会で決まりました。予算の総額は842億6、011万6、000円、前年度と比べ32億9、790万8、000円(3・8%)の減となりました。

内訳は、一般会計が273億8、000万円、特別会計は5会計を合わせて162億7、630万円、企業会計は水道事業と病院事業の2会計を合わせて、406億381万6、000円です。

一般会計の概要

平成27年度一般会計の予算規模は273億8、000万円、前年度と比べ15億5、000万円(5・4%)の減となりました。近年の少子高齢化に伴う社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策経費などの増はあるものの、大規模な復興関連事業や合併関連事業の終了に伴い、歳出は減少しています。

総合計画に掲げる、市の将来都市像「ひとが輝き 海とみどりがつくる 健康都市 旭」の実現に向けた後期基本計画に沿った諸施策はもとより、被災

者の生活再建に重点を置いた復興関連事業、子育て支援策をはじめとした人口減少対策事業、地域経済の活性化を目指した医療福祉・食・交流の郷事業、これらを市の最優先課題として位置付け、取り組んでいきます。

また平成26年度補正予算に計上した、地方創生にかかる国の補正予算を活用する地方創生先行型事業や観光振興事業など一部の事業は、本年度に繰り越して実施していきます。

問い合わせ先
財政課財政班

☎ 62・5316

予算の規模

(単位：千円)

会 計 名		年 度	平成27年度 当初予算 ①	平成26年度 当初予算 ②	比較増減	
					増減額 ①－② ③	増減率 ③/②
一般会計			27,380,000	28,930,000	△1,550,000	△5.4%
特別会計	国民健康保険事業 (事業勘定)		10,402,000	9,292,000	1,110,000	11.9%
	国民健康保険事業 (施設勘定)		87,000	85,000	2,000	2.4%
	後期高齢者医療		513,000	509,000	4,000	0.8%
	介護保険事業		4,612,000	4,625,000	△13,000	△0.3%
	下水道事業		610,000	723,000	△113,000	△15.6%
	農業集落排水事業		52,300	55,400	△3,100	△5.6%
	小 計		16,276,300	15,289,400	986,900	6.5%
企業会計	水道事業	収益的支出	1,454,594	1,483,711	△29,117	△2.0%
		資本的支出	252,196	241,031	11,165	4.6%
		計	1,706,790	1,724,742	△17,952	△1.0%
	病院事業	収益的支出	35,731,810	37,051,263	△1,319,453	△3.6%
		資本的支出	3,165,216	4,562,619	△1,397,403	△30.6%
		計	38,897,026	41,613,882	△2,716,856	△6.5%
	小 計		40,603,816	43,338,624	△2,734,808	△6.3%
合 計			84,260,116	87,558,024	△3,297,908	△3.8%

用語の解説

一般会計／市の基本的な行政を行うための会計。行政サービスのほとんどが、この一般会計で賄われます。

特別会計／国民健康保険のように、特定の収入を特定の支出に充てて事業を行う場合などに、一般会計と区分して経理する会計。

企業会計／地方公共団体が経営する独立採算を原則とする事業を経理する会計。

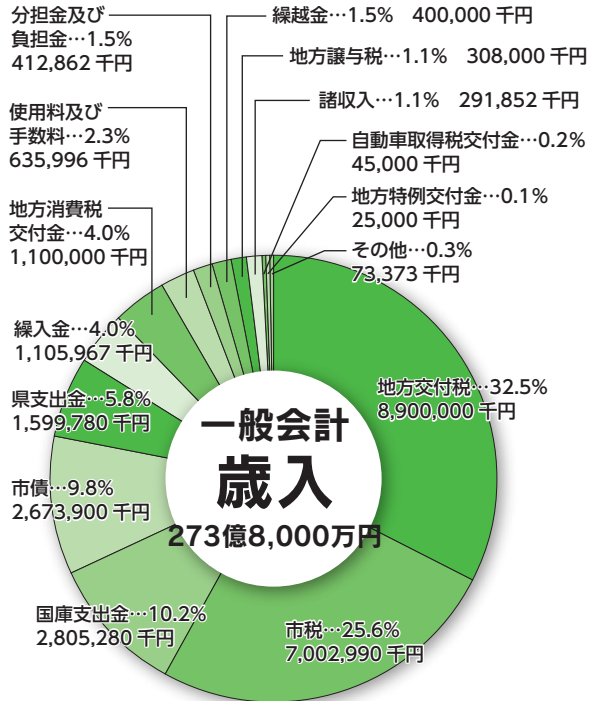


本年度の予算
を紹介します

旭市
イメージアップ
キャラクター
「あさピー」

歳入

市税は70億299万円で、前年度と比べ5,486万9,000円(0.8%)の減の見込みです。地方交付税89億円のうち79億円の普通交付税は、前年度と比べ1億円(1.3%)の減額。10億円の特別交付税は、東日本大震災復興交付金関連事業の歳出減により、前年度と比べ3億円(23.1%)の減額としています。国庫支出金は、前年度と比べ4億528万4,000円(12.6%)の減。国庫支出金の主なものは、児童手当負担金、生活保護費負担金、障害者自立支援給付費等負担金、保育緊急確保事業費補助金などです。県支出金は前年度と比べ、7,187万5,000円(4.7%)の増額としました。



市民1人当たりが納める市税

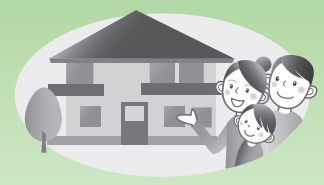
103,000円

※1,000円未満四捨五入
(市税7,002,990千円÷人口67,920人)
人口67,920人(平成27年3月1日現在)

市税の内訳



個人市民税
2,827,390千円

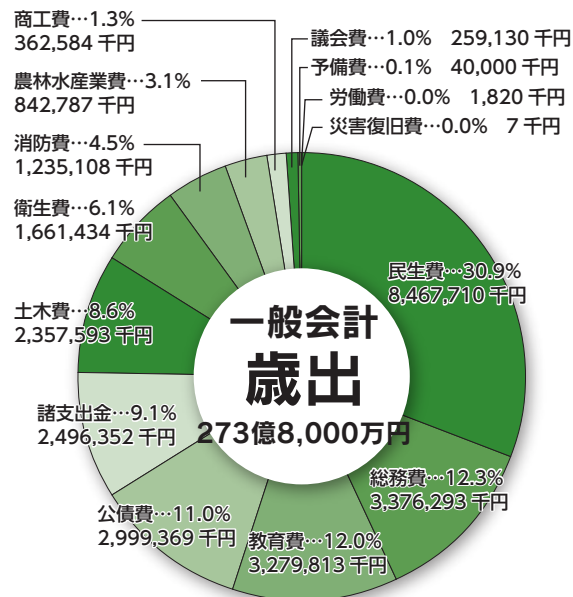


固定資産税
2,786,003千円

市たばこ税 556,059千円
都市計画税 241,816千円
軽自動車税 152,994千円
入湯税 7,073千円
特別土地保有税 120千円



法人市民税
431,535千円



市民1人当たりに使われるお金

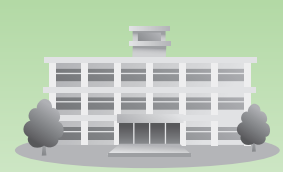
403,000円

※1,000円未満四捨五入
(一般会計予算額273億8,000万円÷人口67,920人)

市民1人当たりに使われるお金の内訳



民生費 124,600円



総務費 49,700円

公債費 44,100円
諸支出金 36,700円
土木費 34,700円
衛生費 24,500円
消防費 18,200円
農林水産業費 12,400円
商工費 5,300円
そのほか 4,500円



教育費 48,300円

歳出

一般会計当初予算における目的別歳出では、民生費が最も多く、全体の30.9%となっています。児童手当の支給や福祉サービスなどに充てられます。続く総務費は12.3%で庁舎管理やコミュニティバスの運営などに充てられます。教育費は全体の12.0%、小中学校の改修、改築などに充てられます。公債費は市の借金で、全体の11.0%となっています。土木費は8.6%で津波避難道路、道路排水路の整備などに充てられます。